

検査数値の意味や見かたが  
よくわかる

# 人間ドック 検査結果 解説BOOK



# 判定基準

判定	意味合い
A	今回の検査では異常を認めません。
B	わずかに異常を認めますが、日常生活上の心配はありません。このまま経過をご覧ください。
C	1年後に再検もしくは定期的な経過観察が必要です。 生活習慣病については、食事・喫煙・飲酒など日常生活に注意してください。
C2	3カ月後に再検もしくは定期的な経過観察が必要です。 生活習慣病については、食事・喫煙・飲酒など日常生活に注意してください。
E	精密検査が必要です。専門医を受診のうえご相談ください。
D	治療が必要です。専門医を受診のうえご相談ください。
F	現在、治療中もしくは経過観察中ですので主治医の先生にご相談ください。



## 身体測定

### 腹囲

おへその高さのお腹まわりを測定します。

### BMI

身長と体重で肥満度を計算します。

### 基準値

男性：85cm未満 女性：90cm未満

### 基準値

18.5以上～25.0未満

\*計算法：体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)

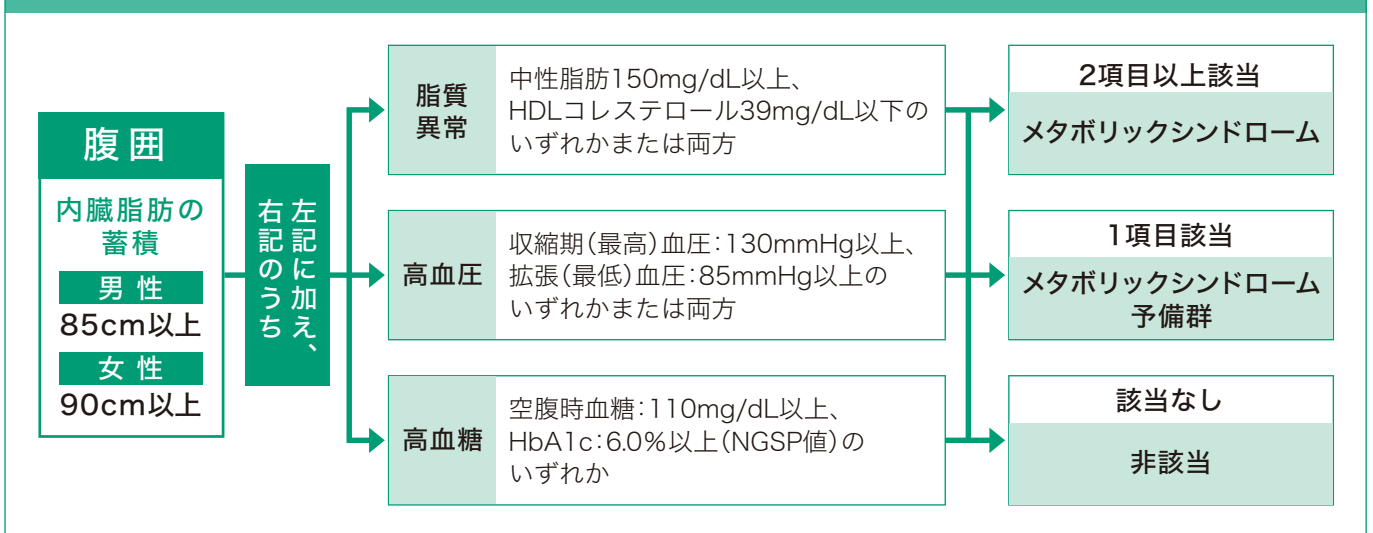
(身長170cm、体重70kgの場合…70÷1.7÷1.7=24.2)

### 関連する病気・症状

- ・肥満…高血糖、高血圧、高尿酸血症(痛風)、脂質異常 など
- ・やせ…低栄養、甲状腺機能亢進症、悪性腫瘍、疲労感 など



## メタボリックシンドローム(メタボ)の判定基準





## 聴力検査

### 基準値

低い周波数(1000Hz) 高い周波数(4000Hz) 30dB以上が聞きとれれば正常

### 関連する病気・症状

難聴(騒音性・先天性・突発性)、中耳炎 など



## 眼科検査

### 視力

5メートル先のものがどれだけ見えるかを測定します。

### 関連する病気・症状

近視、乱視、白内障、緑内障 など

### 眼圧

眼球の圧力を測定します。

### 関連する病気・症状

・高値…緑内障※ ※眼圧は正常範囲だが視野狭窄が起こる「正常眼圧緑内障」の人も多い  
・低値…網膜剥離、外傷 など

### 眼底

眼球の内側をおおう網膜を観察します。

### 関連する病気・症状

加齢黄斑変性、糖尿病性網膜症、緑内障、動脈硬化 など

### 眼科検査でよく見られる所見

乳頭陥凹拡大	緑内障の疑いがある所見。視野が欠ける恐れがあります。
ドルーゼン	加齢変化と思われ、ただちに危険はありませんが、黄斑変性の指摘があれば、眼科を受診してください。
出血	眼底出血はいろいろな原因が考えられ、重大なものもあるので、眼科受診をお勧めします。
緑内障	放置すると視野が欠ける恐れがあるので、眼科受診をお勧めします。
網脈絡膜萎縮	原因はいろいろで一概にはいえませんが、視力低下を起こす場合があります。
白内障	水晶体という目のレンズが濁る病気で、視力低下が進むと手術が必要になります。
白斑	高血圧・糖尿病などによって障害された網膜血管の周囲に生じます。
網膜変性	夜盲・視野狭窄・視力低下を起こす網膜色素変性の疑いがある所見です。
網膜前膜	網膜の中で重要な黄斑部に膜のようなものができ、視力が低下する病気です。
黄斑変性	網膜の中で重要な黄斑部の異常です。ものがゆがんで見えるなどの症状が現れます。

### 知っていますか？ 加齢<sup>おうはん</sup>黄斑変性

加齢により網膜の中心部である黄斑に障害が生じ、見えにくくなる病気です。  
日本では比較的少ない傾向にありましたが、高齢化と生活の欧米化により増加しています。

緑の葉野菜を多く食べる、肉中心を魚中心にするなどといった食事が  
予防につながるともいわれています。



# 呼吸器検査

## 肺機能検査

スパイロメトリーという機械に思いきり息を吹き込み、肺活量(吐き出した空気の量)を測定します。

## 関連する病気・症状

- ・%肺活量低下…肺結核、間質性肺炎、肺線維症、咳、痰、息切れ など
- ・1秒率低下…慢性閉塞性肺疾患(COPD)、気管支喘息、咳、痰、息切れ など

## 喀痰検査

痰を採取し、調べます。

## 関連する病気・症状

肺がん など

## 胸部レントゲン検査

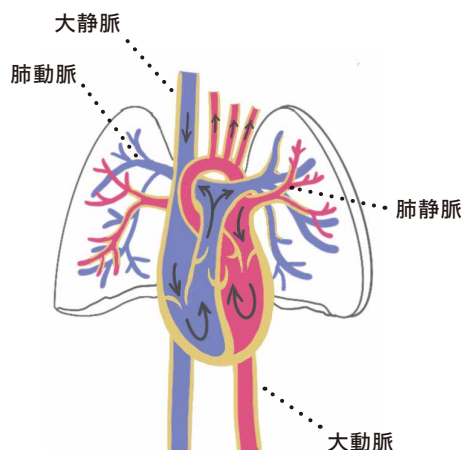
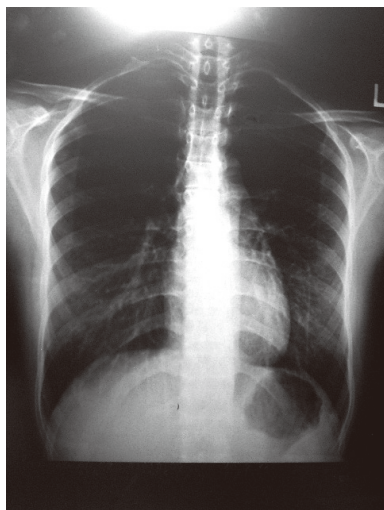
胸部にX線をあて、肺や心臓の病気、骨折や炎症、腫瘍などを調べます。

## 関連する病気・症状

- ・呼吸器に異常…肺結核、肺炎、肺がん、肺線維症、肺気腫 など
- ・循環器に異常…心肥大、心不全、大動脈硬化症 など

## 呼吸器検査でよく見られる所見

胸膜肥厚	過去の肺の炎症が治った跡で、肺を包む膜の厚みが増した状態。
胸膜癒着	過去の肺の炎症が治った跡で、肺を包む膜の一部が癒着した状態。
線状影	種々の原因で、線状の陰影が写った状態。
粒状影	種々の原因で現われ、健常者にも見られることがあります。
結節影	過去に肺結核を起こしている場合や、肺の腫瘍性病変の場合に見られます。
ブラ(肺のう胞)	肺組織の中に生じた気体が入った袋状のもの。破れると気胸を起こすことがあります。
石灰化像	過去の肺の炎症が治った跡で、カルシウム(石灰)が沈着した状態。
気管支拡張症	気管支が広がった状態。咳や痰に血が混じるなどの症状が見られることがあります。
大動脈拡大	大動脈弓部の径が通常より太い場合をいいます。
脊柱変性(側弯症)	脊柱を正面から見たときに、左右に曲がっている状態。
陳旧性炎症	過去の肺の炎症が治った跡。



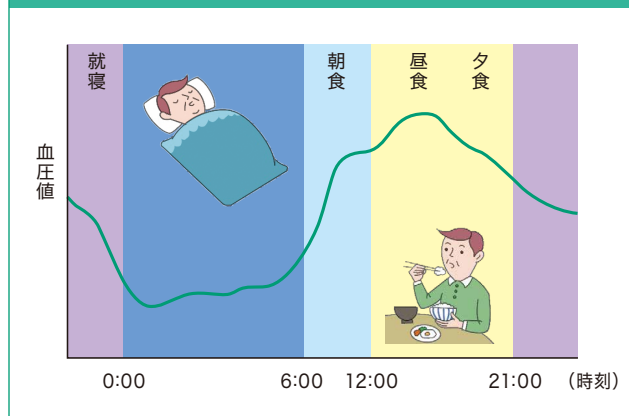


# 血圧測定

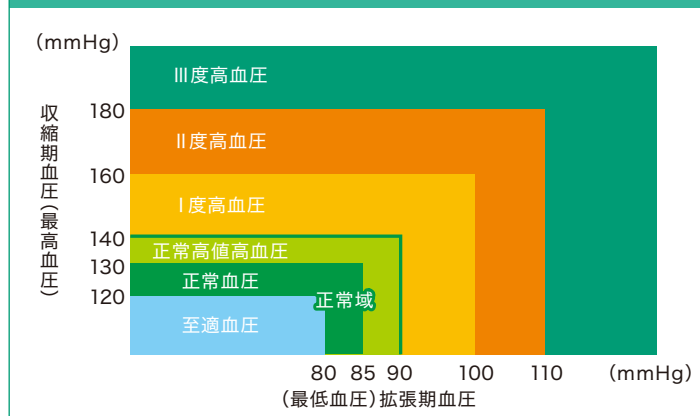
**関連する病気・症状** 高血圧症※(脳卒中や心臓病、腎臓病の原因になる)、動脈硬化症 など

※収縮期血圧/拡張期血圧のどちらか一方、もしくは両方が140/90mmHg以上の場合  
※病院など日常と異なる環境での測定により血圧が高くなることもあり、「白衣高血圧」と呼ばれる。白衣高血圧を見分けるためには家庭での血圧測定が重要

## 血圧の日内変動



## 血圧値の分類(診察室血圧)



# 心電図

**心電図** 心臓が血液を送り出すときに発する電気を読みとり、波形として記録します。

**基準値** 心拍数:50~85回/分

**関連する病気・症状** 不整脈、狭心症、心筋梗塞、心肥大 など

## 心電図の検査でよく見られる所見

R-R'	波形に変化がありますが重大な所見ではなく、これだけでは問題はありません。
上室性期外収縮	心臓へ通常送る刺激以外の異常な刺激が発生し、心拍が一瞬不規則になった状態。
異常Q波	心筋梗塞・心筋症などの疾患の他、健常者に見られることがあります。
r波増高不良	左心室肥大や回復後の心筋梗塞のこともあります。健常者にもしばしば見られます。
軸偏位	心臓を収縮させるための電気の流れが右もしくは左に傾いている状態。
ST低下	心室肥大や狭心症が疑われる場合があります。
ST上昇	放置してよいものから、早急に受診が必要なものまであります。やせ形の若い男性には正常でも見られることがあります。
平低T波	いろいろな原因が考えられ、健常者にも見られることがあります。
PQ短縮	心臓の拍動が危険なほどに早くなる可能性があります。発作的に動悸を感じるがあれば循環器を受診してください。
徐脈・頻脈	徐脈は通常より心拍が少ない状態。頻脈は通常より心拍が多い状態。
ブルガダ	危険な不整脈が起こる可能性があります。特に過去に失神発作を起こしたり、近親者に突然死した人がいるときは受診をしてください。
移行帯偏位	心臓の位置がやや右もしくは左に回転していることをいい、一般的には問題ありません。
陰性U波	通常上向きを示すU波が下向きになっている。心臓弁膜症・狭心症などに見られることがあります。



## 血液の異常を調べる検査

### 赤血球数(RBC)

全身の組織に酸素を運ぶ赤血球の数を調べます。

#### 関連する病気・症状

- ・高値…多血症 など
- ・低値…貧血 など

### 血色素(Hb:ヘモグロビン)

赤血球中に含まれるたんぱく質の一種を測定し、貧血などを調べます。

#### 関連する病気・症状

- ・高値…多血症 など
- ・低値…貧血 など

### ヘマトクリット(Ht)

血液に含まれている赤血球の割合のことです。ヘモグロビンと同様に貧血などを調べます。

#### 関連する病気・症状

- ・高値…多血症、脱水症 など
- ・低値…貧血 など

### MCV、MCH、MCHC

MCV＝赤血球の容積、MCH＝血球に含まれるヘモグロビン量、MCHC＝赤血球容積に対するヘモグロビン量の割合を調べます。

#### 関連する病気・症状

- ・MCVが高値でMCHCが正常…ビタミンB12欠乏性貧血、葉酸欠乏性貧血、過剰飲酒 など
- ・MCV、MCHCともに正常…腎性貧血、溶血性貧血、急性出血 など
- ・MCV、MCHCともに低値…鉄欠乏性貧血、慢性炎症 など

### 血清鉄

ヘモグロビンの合成に必要な血液中の鉄分の過不足を調べます。

#### 関連する病気・症状

- ・高値…急性肝炎 など
- ・低値…鉄欠乏性貧血、がん など

### 白血球数(WBC)

体内に侵入してくるウイルスや細菌を退治する仕組みを免疫といい、その中心的役割を果たすのが白血球です。

#### 関連する病気・症状

- ・高値…白血病、心筋梗塞、細菌感染 など
- ・低値…悪性貧血、再生不良性貧血、敗血症 など

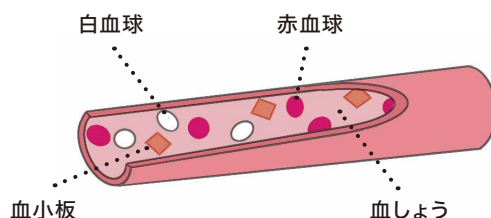
### 血小板数(PLT)

出血した部分に粘着して出血を止める役割を果たす血小板の量の過不足を調べます。

#### 関連する病気・症状

- ・高値…血小板血症、鉄欠乏性貧血 など
- ・低値…再生不良性貧血、特発性血小板減少性紫斑病、肝硬変 など

### 血液の成分



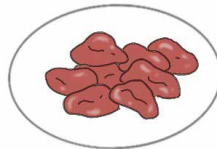
### 末梢血液像(白血球分類)

白血球の各種がどのような割合で血液中にあるかを調べ、どの種類が増減しているかで病気の診断を行います。

#### 関連する病気・症状

- ・好中球…高値:細菌感染など 低値:急性白血病など
- ・好塩基球…高値:慢性骨髄性白血病など
- ・好酸球…高値:アレルギーなど
- ・単球…高値:慢性肝炎など
- ・リンパ球…高値:ウイルス性感染症など 低値:悪性リンパ腫など

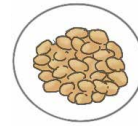
### 貧血を防ぐ食品



鶏レバー



あさり



納豆



## 感染症を調べる検査

### CRP

細菌やウイルスの感染、けが、病気などによって体に炎症が起きると肝臓でつくられ、血中に増えるたんぱく質です。

#### 関連する病気・症状

発熱、リウマチ熱、関節リウマチ、細菌・ウイルス感染症、悪性腫瘍、心筋梗塞 など

### 血沈

血液を細い管に入れて1時間置いておき、沈んだ赤血球などの層と上澄みの間のラインの下がり幅を調べます。

#### 関連する病気・症状

- ・高値…貧血、肺炎、心筋梗塞、膠原病 など
- ・低値…多血症、血液凝固因子の減少、免疫グロブリンの減少 など

### ASO

溶血性連鎖球菌の感染の有無を調べます。

#### 関連する病気・症状

リウマチ熱、膠原病 など

### 梅毒反応検査

梅毒の病原体やそれに対する抗体の有無を見分けます。

#### 関連する病気・症状

陽性(+)…梅毒 など ※膠原病や肝臓病などの場合も陽性になることがあります

### RA

リウマチ因子の有無を調べて関節リウマチを診断します。

#### 関連する病気・症状

陽性(+)…関節リウマチ、膠原病 など

### HBs抗原、HCV抗体

B型肝炎ウイルス・C型肝炎ウイルスの感染の有無を調べます。

#### 関連する病気・症状

- ・HBs抗原が陽性(+)…B型肝炎 (キャリアーも含まれます)
- ・HCV抗体が陽性(+)…C型肝炎※ ※過去にC型肝炎にかかり治った場合も陽性となります



## 腎機能検査

### 尿酸(UA)

たんぱく質の一種であるプリン体から分解された老廃物の血液中の量を測定します。

#### 関連する病気・症状

高値…高尿酸血症、痛風 など

### クレアチニン(Cr)

アミノ酸の一種であるクレアチンが代謝されたあとの老廃物のことで、血液中の量から腎機能の障害の有無を調べます。筋肉量に比例するため、正常でも年齢や性別で差があります。

#### 関連する病気・症状

腎炎、腎機能障害、腎不全 など

### 尿素窒素(BUN)

たんぱく質が分解されるときにできる老廃物の一種です。尿中に排泄されますが腎機能に異常があると血液中に増えるため、その量を測定します。

#### 関連する病気・症状

・高値…腎機能障害、脱水症、消化管出血 など  
・低値…低栄養 など ※妊娠で低値となる場合があります

### eGFR(推定糸球体ろ過量)

クレアチニンの測定値をもとに年齢・性別から推算し、腎臓が老廃物を排泄する能力を調べます。

#### 関連する病気・症状

慢性腎臓病(CKD)

### 電解質

体内の水分調節や神経の伝達、筋肉の収縮などの役割を果たす電解質の濃度を調べます。

#### 関連する病気・症状

・Na…高値:脱水症、尿崩症など 低値:腎不全、心不全など  
・K…高値:腎不全、糖尿病など 低値:嘔吐、下痢など  
・Ca…高値:副甲状腺機能亢進症、脱水症など 低値:腎不全、ビタミンD欠乏症など  
・Cl…高値:脱水症など 低値:嘔吐、下痢など  
・Mg…高値:腎不全など 低値:糖尿病など

### 尿たんぱく

尿中のたんぱくの有无を調べます。

#### 関連する病気・症状

糸球体腎炎、糖尿病性腎症、ネフローゼ症候群、妊娠高血圧症候群 など

### 尿沈渣

尿を遠心分離器にかけ、沈殿した成分の種類や数を調べます。

#### 関連する病気・症状

・赤血球が多い…膀胱炎、尿道炎、腎盂腎炎、結石、腫瘍 など  
・白血球が多い…膀胱炎、尿道炎、炎症、腎盂腎炎 など  
・円柱細胞がみられる…腎炎、ネフローゼ症候群、腎盂腎炎 など  
・上皮細胞がみられる…膀胱炎、尿道炎 など

### 尿潜血

尿中の血液の有無を調べます。

#### 関連する病気・症状

膀胱炎、尿道炎、腎盂腎炎、尿路結石 など



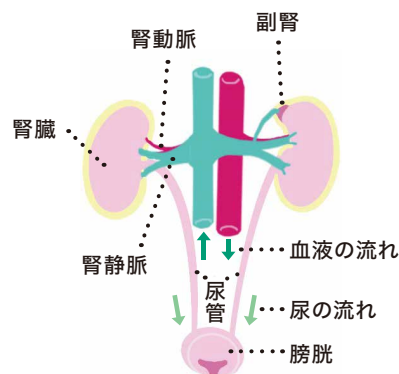
## 尿糖

尿中の糖の有無を調べます。

### 関連する病気・症状

陽性(+)…糖尿病 など

## 腎臓のしくみ



# 肝機能検査

## 総たんぱく(TP)

血液中の総たんぱくの量を測定します。

### 関連する病気・症状

・高値…慢性肝炎、多発性骨髄腫、脱水症 など  
・低値…栄養障害、ネフローゼ症候群、肝硬変 など

## アルブミン

血液中に含まれるたんぱく質のうちでもっとも多く、肝臓で合成されます。肝機能障害の有無・栄養状態を調べます。

### 関連する病気・症状

栄養障害、ネフローゼ症候群、肝硬変 など

## AST(GOT)、ALT(GPT)

AST(GOTともいう)は、心臓、筋肉、肝臓に多く存在する酵素で、ALT(GPTともいう)は肝臓に多く存在する酵素です。おもに肝機能障害の有無を確認する際に調べます。

### 関連する病気・症状

・高値(ALT<AST)…肝機能障害、急性肝炎、アルコール性肝障害、肝硬変 など  
・高値(AST<ALT)…肝機能障害、急性肝炎、慢性肝炎、脂肪肝 など  
・ASTのみ高値…肝機能障害、心筋梗塞、多発性筋炎、溶血性貧血 など

## LDH(乳酸脱水素酵素)

糖が体内でエネルギーに変わるときに働く酵素で、臓器障害が起こった場合に異常値を示します。肝臓疾患や心筋梗塞の診断時に用います。

### 関連する病気・症状

高値…急性肝炎、慢性肝炎、白血病、心筋梗塞、がん など

## γ-GTP

肝臓や腎臓・膵臓などに含まれ、肝臓の解毒作用に関する酵素で、過度の飲酒により数値が上昇します。おもに肝機能障害の有無を確認する際に調べます。

### 関連する病気・症状

アルコール性肝障害、慢性肝炎、薬剤性肝障害、閉塞性黄疸 など

## 総ビリルビン(T-Bil)

赤血球中のヘモグロビンが分解してできる色素です。肝臓や胆のうに異常があると血液中にとどまるため、その量を測定します。

### 関連する病気・症状

高値…肝炎、肝臓がん、閉塞性黄疸、薬剤性肝障害 など

**ALP(アルカリフォスファターゼ)**

肝臓・胆道・骨・腎臓・腸などに多く含まれる酵素です。これらの臓器に障害があると血液中に流れ出てくるため、その量を測定します。

**関連する病気・症状**

高値…閉塞性黄疸、胆管炎、脂肪肝、骨腫瘍、甲状腺機能亢進症 など

**コリンエステラーゼ(ChE)**

肝臓でつくられる酵素のひとつです。おもに肝機能障害の有無・栄養状態を確認する際に調べます。

**関連する病気・症状**

・高値…脂肪肝、糖尿病、脂質異常症、ネフローゼ症候群 など  
 ・低値…肝硬変、肝臓がん、慢性肝炎、低栄養 など

**LAP(ロイシンアミノペプチダーゼ)**

さまざまな臓器や胆汁中に広く分布する酵素です。おもに肝臓や胆道の障害の有無を調べます。

**関連する病気・症状**

高値…慢性肝炎、肝臓がん、薬剤性肝障害、胆石 など

**尿ウロビリノーゲン**

胆汁内に含まれるビリルビンが腸内細菌によって分解されてできる物質です。尿中の量から肝臓や胆道の障害の有無を調べます。

**関連する病気・症状**

・陽性(+)…肝機能障害、溶血性貧血、便秘 など  
 ・陰性(-)…胆道閉塞、抗生物質の投与によるもの など

**血清アミラーゼ**

膵臓や唾液腺から分泌される消化酵素の量を測定し、膵臓の障害の有無を調べます。

**関連する病気・症状**

・高値…急性膵炎、慢性膵炎、膵臓がん、腎不全、唾液腺疾患 など  
 ・低値…進行した慢性膵炎、膵臓がん など



## 糖尿病検査

**血糖**

いわゆる血糖値のことです。糖尿病の指標として使われます。

**関連する病気・症状**

糖尿病、慢性膵炎 など

**HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)**

糖尿病の指標のひとつで、過去2カ月間の血糖値を反映します。

**関連する病気・症状**

糖尿病 など

### 糖尿病の診断基準

- |                             |                   |
|-----------------------------|-------------------|
| ① 空腹時血糖：126mg/dL以上          | ③ 随時血糖：200mg/dL以上 |
| ② 経口ブドウ糖負荷試験2時間値：200mg/dL以上 | ④ HbA1c：6.5%以上    |

別の日に行った検査で、上記の異常が2回認められれば糖尿病と診断する。ただし、HbA1cのみの反復検査による診断は不可とされており、2回のうち少なくとも1回は必ず血糖のいずれかで確認する必要がある。



## 脂質異常症検査

**総コレステロール(TC)** 血管の強化、維持に重要な役割を果たしています。

- 関連する病気・症状**
- ・高値…脂質異常症、動脈硬化症、甲状腺機能低下症 など
  - ・低値…栄養吸収障害、肝硬変、甲状腺機能亢進症 など

**HDLコレステロール** いわゆる“善玉コレステロール”。  
動脈硬化を防ぐ働きをします。

- 関連する病気・症状**
- 低値…喫煙、肥満、運動不足、糖尿病、脂質異常症、動脈硬化症 など

**LDLコレステロール** いわゆる“悪玉コレステロール”。  
血管壁に沈着しやすく、過剰になると動脈硬化の原因となります。

- 関連する病気・症状**
- ・高値…脂質異常症、動脈硬化症、甲状腺機能低下症 など
  - ・低値…肝硬変、甲状腺機能亢進症 など

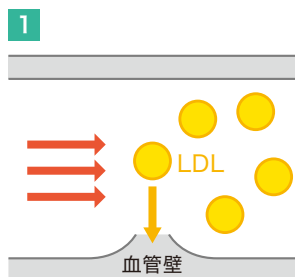
**Non-HDLコレステロール** 総コレステロールからHDLコレステロールを引いた値です。

- 関連する病気・症状**
- 高値…脂質異常症、動脈硬化症 など

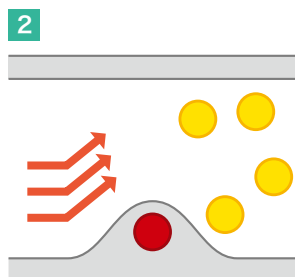
**中性脂肪 (TG:トリグリセリド)** 生体のエネルギーの貯蔵と運搬を担っている脂質で、  
その多くは皮下脂肪として蓄えられています。

- 関連する病気・症状**
- ・高値…脂肪肝、脂質異常症、動脈硬化症、甲状腺機能低下症 など
  - ・低値…低栄養、甲状腺機能亢進症 など

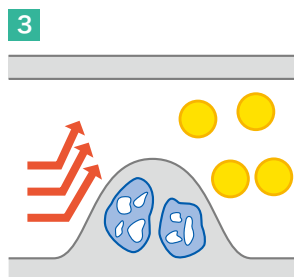
### 動脈硬化の仕組み



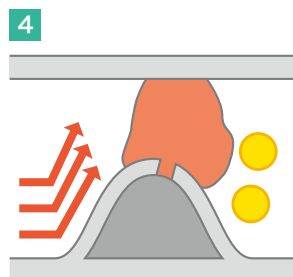
LDLが増えると血管壁が傷つき、LDLが入り込む



入り込んだLDLが酸化LDLに変わる。これが悪玉の正体



コレステロールが蓄積して血管の内側にプラーク(コブ)ができた状態



プラークが破裂して血栓ができ、血管を塞いでしまう

動脈硬化は、脳梗塞や、狭心症・心筋梗塞といった重篤な病気を引き起こす原因となります。



## 消化器検査

### 上部消化管X線検査(胃バリウム検査)

造影剤のバリウム液を飲み、食道から胃、十二指腸までをX線写真で映し出します。

#### 関連する病気・症状

食道・胃・十二指腸の潰瘍、がん、ポリープ など

### 上部消化管内視鏡検査(胃カメラ検査)

口または鼻から内視鏡(胃カメラ)を挿入し、食道や胃、十二指腸を観察します。

#### 関連する病気・症状

食道・胃・十二指腸の炎症、潰瘍、がん、ポリープ など

### 消化器検査でよく見られる所見

憩室	憩室は食道の壁、胃、十二指腸の壁が外に向かってふくれて、小さな袋を作っている状態です。多くが無症状で、放置してよい所見です。
食道裂孔ヘルニア	食道が通る横隔膜の穴を食道裂孔といい、胃の一部がこの穴から胸部へと脱出してしまった状態。原因としては加齢や肥満、背中の曲がりなどがあります。胸やけの原因となることがあります。
ポリープ	胃や十二指腸にできる、粘膜が隆起して起こる病変です。ほとんどが良性です。
隆起性病変	腫瘍・ポリープなど胃・十二指腸などの粘膜表面が盛り上がった状態です。
瀑状胃	胃の上部が拡張して背中側に折れ曲がった形態の異常です。
逆流性食道炎	胃酸が食道へ逆流し、食道粘膜に炎症を起こしてしまう疾患です。胸やけなどが強い場合は治療適応となります。
胃下垂	胃の下縁が正常よりも下がっている状態です。
びらん	粘膜のただれのことです。悪性が否定できない場合、病理組織検査が必要となります。
慢性胃炎	胃粘膜が何らかの原因で持続的に炎症を起こしている状態です。
萎縮性胃炎	主にピロリ菌の感染によって引き起こされる胃炎を指します。高度の萎縮性胃炎は胃癌発生リスクが高く、定期的な内視鏡検査が必要です。
表層性胃炎	胃粘膜に線状の発赤や斑状の発赤が見られる胃炎です。症状がなければ治療の必要はありません。
粘膜下腫瘍	粘膜の下にできた腫瘍のことです。
潰瘍瘢痕	胃・十二指腸潰瘍の治った跡を瘢痕といいます。
巨大レリーフ	胃にあるヒダが慢性炎症等で太くなった状態です。
食道血管腫	食道の壁内に発生した粘膜下腫瘍の一種で、良性の腫瘍です。大きくなるとつかえ感などが出現することもあります。
食道乳頭腫	食道の中部から下部にかけて多く見られる良性腫瘍です。
黄色腫	わずかに隆起する境界明瞭な白色から黄色調の病変です。ピロリ菌と関連があるとされています。
鳥肌胃炎	皮膚に見られる鳥肌のように、同じ大きさの胃粘膜の隆起が密集して認められる状態です。若年成人のピロリ菌感染者の特徴的な内視鏡所見で、胃癌発生リスクが高いことが報告されています。
迷入腺	胃の出口付近に見られることが多い異所性の腺組織です。
異所性胃粘膜	食道や十二指腸に胃の粘膜が見られる状態です。
胃角部変形	通常はU字型をしている胃角部の辺縁が、直線化したり開大化した状態です。胃潰瘍・胃炎・胃癌の場合もあります。
球部変形	十二指腸球部に潰瘍ができて、辺縁が変形している状態です。
カンジダ性食道炎	カビの一種であるカンジダが食道粘膜に侵入した状態です。

バレット食道	食道の粘膜が、胃の粘膜に置き換わった状態です。 食道がんを発症するリスクが高まるため経過観察が必要です。
胃腺腫	胃の粘膜上皮から発生した良性の腫瘍のことをいいます。

### ペプシノゲン検査

血液中のペプシノゲンの量を測り、胃粘膜の萎縮の広がりとその程度、胃液の分泌機能、胃粘膜の炎症の有無を調べます。

### 関連する病気・症状

胃・十二指腸の潰瘍、胃がん、萎縮性胃炎 など

### ヘリコバクター・ピロリ抗体検査

血液検査・尿検査・便検査・呼気検査などでピロリ菌の感染の有無を調べます。

### 関連する病気・症状

胃・十二指腸の潰瘍、胃がん など

### 胃がんリスク検診(ABC検診)

胃がんを直接発見する検査ではなく、ピロリ菌感染の有無と胃粘膜萎縮の程度を測定し、胃がんのリスクを調べます。ピロリ菌が陽性だった場合に除菌治療を行うかどうかは、内視鏡で胃の状態をみてからの判断となります。

## リスク分類

A群	ピロリ菌の感染、胃粘膜の萎縮がなく、胃がん発生リスクはかなり低いと考えられる。
B群	ピロリ菌の感染があるが、ペプシノゲン値が基準値以上(陰性)、胃粘膜の萎縮は軽度。胃がん発生リスクは年に0.1%(1000人に1人)程度とされている。
C群	ピロリ菌の感染があり、ペプシノゲン値が基準値以下(陽性)、胃粘膜の萎縮は軽度。胃がん発生リスクは年に0.2%(500人に1人)程度とされている。
D群	ペプシノゲン値が基準値以下(陽性)、胃粘膜の萎縮が高度に進行しピロリ菌がいなくなった状態。胃がん発生リスクは年に1.25%(80人に1人)程度とされている。
E群	ピロリ菌の除菌治療を受けた人は除菌判定の結果にかかわらず、E群(除菌群)として区別する。



## 腹部超音波検査

超音波で腹部の臓器を確認します。

### 腹部超音波検査でよく見られる所見

のう胞	臓器に袋状の組織ができ、その中に水がたまった状態をいい、良性の所見です。
脂肪肝	肝臓に脂肪がたまった状態です。 主に飲酒や肥満が原因であり、生活習慣病との関連が高い疾患です。
肝血管腫	肝臓で頻度が高く発生する良性の血のたまった腫瘍のことです。大きくなければ問題はありません。
肝内石灰化	肝臓にできたカルシウム沈着のことをいいます。
胆嚢ポリープ	胆嚢の粘膜がコレステロールの塊などで隆起した状態です。10mm以上の場合には精査対象となります。
胆石症	胆のう内に石があります。腹痛などが出現した場合は受診が必要です。
胆嚢壁内結石	胆のうの壁の中に極めて小さな石が見受けられます。
胆嚢腺筋腫症	胆のうの壁が全周囲、もしくは一部が厚くなっている状態です。 通常は問題ありませんが、悪性腫瘍との鑑別が必要な場合は精査対象となります。
胆嚢壁肥厚	胆のうの壁の一部が厚くなっている状態です。原因確認のため、精密検査が必要な場合があります。

腎結石	腎臓内に石があります。腰痛・脇腹の痛み、尿に血が混じるなどの症状が見られることがあります。
腎血管脂肪筋腫	腎臓の中にできる両性の腫瘍です。
脾腫	脾臓が大きく腫れた状態です。 肝機能異常や血液疾患などが疑われることがあり、継続的な検査が必要となる場合があります。
副脾	本来1つである脾臓の近くに10%の割合で見られ、通常は病的ではありません。



## 子宮がん検査

### 子宮がん検査

子宮の入り口にできる「子宮頸がん」と奥の部分にできる「子宮体がん」があります。子宮頸がんは性交渉で感染する「ヒトパピローマウイルス」と関係があります。

### 内診

片手の指を膣に挿入し、もう片方の手で腹部を押さえて、双方の手で挟みながら子宮・卵巣・子宮周辺を触診し、腫れやしこりがいないかを調べます。  
同時にコルポスコープ(膣拡大鏡)検査や経膣超音波検査が行われることもあります。

### 関連する病気・症状

子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍 など

### 子宮頸部細胞診

子宮頸部の細胞を採取し顕微鏡で調べます。

### 関連する病気・症状

子宮頸がん など

## ベセスダシステム(医会分類)

検査結果	細胞診結果補足	検査結果の説明	クラス分類の目安
NILM	陰性	正常または正常範囲内の所見です。	I、II
ASC-US	軽度の異形扁平上皮細胞	細胞に変化が見られます。受診が必要です。	II-IIIa
ASC-H	高度の異形扁平上皮細胞	細胞に悪性変化の可能性が疑われます。受診が必要です。	IIIa、IIIb
LSIL	軽度の扁平上皮病変	細胞に軽度の異常が見られます。受診が必要です。	IIIa
HSIL	高度の扁平上皮病変	細胞に高度の異常が見られます。受診が必要です。	IIIa、IIIb、IV
SCC	扁平上皮がん疑い	扁平上皮がんが疑われます。早急に受診が必要です。	V
AGC	異型腺細胞	細胞に悪性変化の可能性が疑われます。早急に受診が必要です。	III
AIS	上皮内腺がん疑い	上皮内腺がんが疑われます。早急に受診が必要です。	IV
Adenoca.	腺がん疑い	腺がんが疑われます。早急に受診が必要です。	V
other	他の悪性腫瘍疑い	その他の悪性腫瘍が疑われます。早急に受診が必要です。	V



# 乳房の検査（乳がん検査）

## 乳房超音波

乳房に超音波をあて、触診ではわからないような小さなしこりの有無を調べます。

## 関連する病気・症状

乳がん、乳腺症 など

## マンモグラフィ(乳房X線検査)

両方の乳房をX線で撮影し、腫瘍の有無や大きさ・形、石灰化の有無などを調べます。

### 乳がん検査でよく見られる所見

乳腺のう胞	乳腺内に液体がたまった状態です。基本的には良性の変化で乳腺症の範疇に含まれます。
乳腺線維腺腫	20代の女性に多い病気です。乳腺とその周辺の線維成分が増殖して、乳腺内に丸くて弾力があるしこりができるのが特徴です。触るとよく動き、小さいものであれば経過観察とします。
石灰化	カルシウムが沈着したと考えられる部分が点状・線状に見られることがあります。腫瘍を示すわけではありませんが、悪性を疑われる場合があります。
腫瘤	乳房内で、他の組織とは異なる組織の塊が見られる状態です。良性・悪性のどちらも考えられますので詳しい検査が必要となります。
乳管拡張症	乳管が拡張している状態です。乳腺の分泌過剰や、炎症、腫瘍などが原因で起こります。
乳腺症	ホルモンの影響で乳腺が硬くなったり、水がたまったりする良性の病変です。

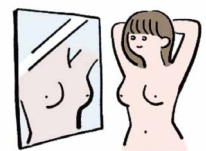
### マンモグラフィのカテゴリー分類

カテゴリー	分類	検査結果の説明
カテゴリー1	異常なし	異常ありません。
カテゴリー2	良性	石灰化した線維腺腫や、脂肪腫等、明らかに良性と判断できる所見です。
カテゴリー3	良性	良性の可能性が高いが、悪性も否定できません。超音波検査等の追加検査が必要です。
カテゴリー4	悪性の疑い	悪性の疑いがあります。他の詳しい検査が必要です。
カテゴリー5	悪性	ほぼ乳がんと考えられる病変があります。更なる検査が必要です。

## \*乳がんの自己検診法\* 月に1回のセルフチェック

### セルフチェックを行うタイミング

- ・生理が終わった後4～5日
- ・閉経後の方は、毎月、日を決めて

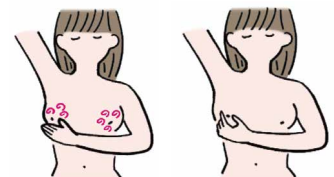


### 鏡の前で目でチェック

- ①腕を上げて、乳房のひきつれ、くぼみ、乳輪の変化、乳房の大きさや形に左右差がないかなどをチェックします。
- ②腕を下げた状態でも、同様にチェックします。

### 手で触るチェック

- ①揃えた4本の指の腹で、「の」の字を描くように指を動かしながら、しこりや凸凹がないか、ワキの下の腫れやしこりがないかなどをチェックします。
- ②乳頭を指先で搾るようにして、血液の混じった分泌物が出ないかを確認します。



### あおむけになってチェック

乳房が大きい場合や下垂気味の場合は、あおむけでチェックします。触る方の腕を上げて、逆側の手で触ります。



## 人間ドック・健診は『カラダの通信簿』

『カラダテラス』をご利用いただき、ありがとうございました。

結果表をご覧になっていかがでしたか？

皆さまが人間ドック・健診をお受けになった動機は、「会社の指示だから…」、「最近少し体調が悪く心配だから…」、「ずっと健康でいたいから…」などさまざまでしょう。

今回の結果は、一時的なものではありますが決して偶然の産物ではなく、皆さまの日ごとの生活習慣が具現化されたものと考えられます。

これまで多くの受診者様を拝見してきて感じますのは、健康維持に向けた努力は報われることが多いということです。例えばほんの少し食生活を見直してみたり、軽く運動を始めてみたりすることで、前回よりもデータが改善されていることが多く、そうした成果を客観的に確認できるのは私どもにとっても喜びです。

自覚症状がないまま進行してしまう病気は多数ありますが、人間ドックや健診で定期的にご自身の健康状態を確認していただくことで、その多くは早期発見・早期治療が可能です。

皆さまの健康を維持するために、カラダテラスが少しでもお役に立てればこれほど嬉しいことはありません。スタッフ一同、次回の受診をお待ちしております。

カラダテラス スタッフ一同

検査結果について、ご不明な点がございましたら、お気軽にご相談ください

### カラダテラス 海老名

TEL ▶ 046-292-1311

Mail ▶ support@jin-ai.or.jp